

体育科の基本方針

1 体育科で目指す子ども

運動の特性に応じた体の動かし方や健康を支える過ごし方に着目して運動や生活の仕方を工夫し、健康の保持増進と体力の向上を図る子ども

体育科では、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することが求められている。当校では育成すべき資質・能力を右頁のように設定し、様々な運動領域や保健領域において資質・能力を発揮させ、自覚させることで育成を図っている。

右頁のような様々な資質・能力を育成するには、子どもが運動の楽しさや健康のよさを感じるだけでなく、運動の特性に応じた体の動かし方や健康を支える過ごし方を基に、よりよい運動の仕方や健康な生活の仕方を工夫できることが大切である。なぜなら、そのような子どもは、実生活においてもよりよい運動の仕方や健康な生活の仕方を工夫し、新たな課題を解決していくことができるからである。

このように、体育科の見方・考え方を基に資質・能力を発揮して自覚する経験を積み重ねることにより、健康の保持増進と体力の向上を図る姿が、当校体育科で目指す子どもの姿である。

2 豊かに考える子どもを育む授業づくり ○ 低学年運動領域：表現リズム遊び

動きを変化させる工夫を通して、題材の特徴を生かしたり、リズムに乗ったりして全身で表現する子ども

山形は、第1学年の表現リズム遊びにおいて、まず、最初に行った表現リズム

遊びの映像を提示し、よくしたいところを問う。子どもは、「うまく表現できるようになりたい」「もっと動きを工夫したい」と問いをもつ。

次に、課題解決に必要な動き方を示した「うごきヒントシート」や題材、自分、友達の映像を提示したり、タブレット端末で撮影できる場を設定したりする。子どもは体の部位に着目してその動かし方を考えたり、リズムを意識して動いたりしながら、「うごきヒントシート」の動き方と自分の動き方とを比較したり、題材の映像と自分の映像とを比較したりして、動き方を工夫する。自分の動きを見直したり、動き方を工夫したりして繰り返し練習し、目指す姿になる。

目指す姿になった子どもに、うまくなった理由を問う。子どもは様々な資質・能力を発揮したことを自覚する。

○ 第6学年保健領域：病気の予防

疾病等のリスクを軽減する生活を考え、健康の保持増進を図る子ども

長谷川は、第6学年の病気の予防の単元を保健学習の知識を自己の生活に生かすために他教科等と連携して実践する。まず、子どもは保健学習で病気の起こり方、生活習慣の大切さ、喫煙と飲酒の体への影響についての知識を学習する。その後、道徳科において、がん経験者の方を通して命と健康の大切さについて考える。そして、保健指導を通して病気を予防するための生活を考える。

子どもは、自己の生活習慣の課題と病気の予防に関する知識、命と健康の大切さを結び付け、自己の生活を振り返り、病気を予防するための生活習慣を考え出す。そして、目指す子どもの姿になる。

3 体育科で育成する資質・能力

	低学年	中学年	高学年
① 知識・技能	【運動領域】 ○運動の行い方に関する基礎的な知識 ○各種の運動を行うための基本的な動き	【運動領域】 ○運動の行い方に関する知識 ○各種の運動を行うための基本的な動きや技能	【運動領域】 ○運動の特性に応じた知識 ○各種の運動を行うための基本的な技能
		【保健領域】 ○健康によい生活の仕方に関する知識 ○体の発育・発達に関する知識	【保健領域】 ○不安や悩みへの対処方法に関する知識 ○病気の予防に関する知識 ○けがの手当に関する技能
② 思考力・判断力・表現力	【運動領域】 ○自己の能力に適した課題に気付く力 ○自己の課題を解決するための活動を選んだり、運動の行い方を工夫したりする力	【運動領域】 ○自己の能力に適した課題に気付く力 ○自己の課題を解決するための活動を選んだり、運動の行い方を工夫したりする力 ○言葉や動作等で他者に伝える力	
		【保健領域】 ○健康課題の解決方法を考える力 ○学んだことを自己の生活に生かす力 ○学んだことや健康に関する自分の考えを伝える力	
③ 態度	【運動領域】 ○だれとでも仲よくし、安全に留意して意欲的に運動しようとする態度	【運動領域】 ○協力・公正などの態度を育てるとともに、安全に留意し、最後まで努力して運動しようとする態度	【運動領域】 ○協力・公正などの態度を育てるとともに、安全に留意し、自己の最善を尽くして運動しようとする態度
		【保健領域】 ○健康の大切さを認識し、毎日の生活に関心をもとうとする態度 ○体の成長を肯定的に受け止めようとする態度	【保健領域】 ○健康の大切さを認識し、自らの健康を保持増進しようとする態度 ○心の発達を肯定的に受け止めようとする態度

4 体育科の学習で働かせる見方・考え方

	低学年	中学年	高学年
見方・考え方	【運動領域】 ○運動の特性に応じた体の部位（腕、足、頭など）に着目すること ○自分の動きと他者の動きとを比較して考えること ○自分の前の動きと今の動きとを比較して考えること	【運動領域】 ○運動の特性に応じた体の部位（肘、膝、首など）に着目すること ○自分の動きと他者の動き、他者と他者の動きとを比較したり関係付けたりして考えること ○自分の前の動きと今の動きとを比較して考えること ○自分のチームの動きと他者のチームの動き、他者のチームの動きと他者のチームの動きとを比較したり関係付けたりして考えること	
		【保健領域】 ○課題や情報を、健康に関する原則や概念に着目すること ○疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けて考えること	

